

第3回 宇部市常盤通りウォークアブル推進協議会 ～会議録～

日時	令和4年8月30日（火）13:00～14:00	
場所	ポスティビルド3階 研修室	
出席者	協議会	市長（会長）※Web出席、岡松委員、宋委員、宮崎委員、熊谷委員、中野委員、江嶋委員、錦織委員（松本委員の代理）、野嶋委員、大下委員 ※榊原委員欠席
	事務局（国）	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 尾畑総括保全対策官 道路管理第一課：中井建設専門官
	事務局（市）	都市政策部：村上部長、磯中次長、福田次長 中心市街地活性化推進課：渡辺課長、野村副課長、安部係長、光木

議事概要

議題1 「空間利活用デザインについて」

事務局（市）から別添【資料3】に基づき説明を行った。

意見等については、以下のとおりである。

- ・中津瀬神社と福岡銀行の間の道路は、国道から新天町へのメイン動線となる非常に重要な道路であり、一部閉鎖について新天町の理解が得られなかったため、再度部会で検討してほしい。どうしても中津瀬神社前とキッズラップ前を繋ぎたいということであれば、確実に車が出入りできるような形で工夫してほしい。
→【事務局】改めて部会で検討する。
- ・水遊び場と泥遊び場については、新天町でも昔噴水の池を作ったが、非常に汚れ、匂いが出て掃除に苦労していた。水が常に流れるような仕組みが必要と思う。
→【事務局】改めて部会で検討する。
- ・7箇所ステージが出来ると思っている。いつでも誰でも勝手に利用できるのか。申請して許可がいるのか。
→【事務局】今後の運営管理について部会の中で検討していく。常設するもの一時的に設置するものを踏まえながら議論をして、協議会に報告させていただく。
- ・整備方針案では緑の量が少ないように思う。予算や維持管理の関係で制限があるのか、デザイン的にこうしているのか。
→【事務局】緑の配置は部会での議論内容を落とし込んでいく。部会でも芝生の維持管理等が大変ではとの意見が出ているが、自動灌水や自動芝刈り機など前向きに検討している。樹木の本数は現時点ではあくまでイメージであり、細かな本数まで確定していないので、今後部会の中で検討していく。
- ・キッズラップ前と中津瀬神社は非常に楽しそうである。但し、横断防止柵の構造を見ると容易に子供が飛び出しそうなので、より抜け出しにくい構造にした方が良いと思う。
→【事務局】横断防止柵の構造を周辺との調和も意識しながら安全性第一で検討していく。
- ・ウッドデッキを多用していると思う。木は温かみがあり良いと思うが、維持管理のサイクルが早そうである。

- 【事務局】木の自然な肌触りや熱を持ちにくいということもあり利用しているが、維持管理を考えると5年10年で腐食が進むので、部会では樹脂を用いた再生木材を使用するなどの意見があった。今後も検討を行う。
- ・それぞれコンセプトが取りまとめられており、良く考えられていると思う。エリアとエリアの間の交流を考えるとより良いのではと考える。
 - 【事務局】参考とさせていただく。
- ・部会の市民公募委員の分野ではアーバンスポーツの分野があるが、今回の提案ではアーバンスポーツの要素が無い。アーバンスポーツの観点も含めて、改めて部会で検討してほしい。
 - 【事務局】改めて部会で検討する。
- ・車いすの方々など障がい者の方々も使いやすいように配慮しているか。
 - 【事務局】バリアフリーという観点は、部会でも発言されており、そのような意識のもと検討を進めている。これから図化を進めるにあたり、具体的に見えるように配慮していきたい。引き続き障がい者の方々にも利用しやすい空間になるように検討していく。

審議の結果、以上の内容を、改めて検討部会に検討していただくこととする。

議題2 「生まれ変わる常盤通りを表すキャッチフレーズについて」

事務局（市）から別添【資料4】に基づき説明を行った。

審議の結果、「みんなが自由につかえる「ときわTerrace（通称：T-Terrace）」をキャッチフレーズとして決定する。